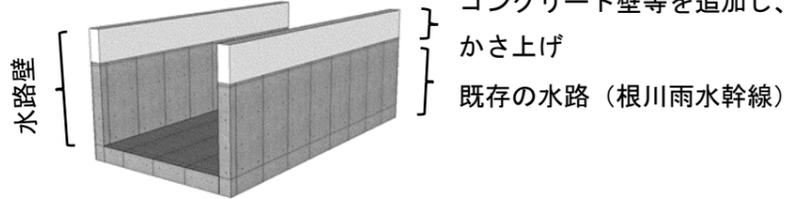
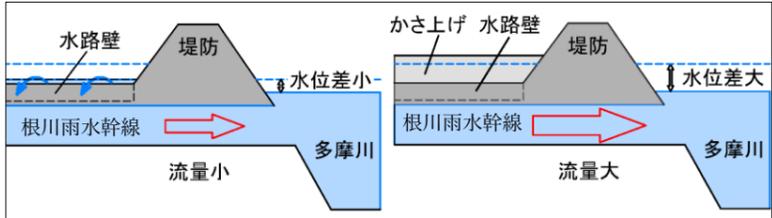


ご意見等回答一覧

No.	ご意見等	回答
1	<p>水路壁の仕組みがよく理解できませんでしたので、ご説明いただけますでしょうか。</p>	<p>回答</p> <p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域、（猪方）は猪方排水樋管の流域、（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（六郷）</p> <p>既存の水路の上に、コンクリート壁等を立てるもので、図のようなイメージになります。なお、採用しないこととした案のため、詳細な構造の検討は行っていません。</p>  <p>排水の仕組みについてですが、原理としては、根川雨水幹線が河川水位を上回る水位であれば、排水ができます。多摩川の水位が上昇しても、水路壁をかさ上げすることで、根川雨水幹線の方が水位が高い状況を作り出せます。この関係を利用して排水を行うこととしていました。</p> 
2	<p>貯留施設（西和泉グランド）は設置しない、ということよろしいでしょうか？であれば、その理由を今一度ご説明いただけますでしょうか。</p>	<p>（六郷）</p> <p>根川雨水幹線にポンプ施設を設置することで浸水を解消することができるため設置する必要がなくなりました。</p> <p>このため、今回の計画においては、西和泉グランドに貯留施設は設置しません。</p>

No.	ご意見等	回答
3	<p>P31 ポンプゲートに関して</p> <p>Q1. 多摩川の水位から考えると、①の地点での水圧は相当のものと考えられるが、設計上何 Pa 以上の水圧に対して放流する能力のあるポンプを設置する予定でしょうか？</p> <p>Q2. ポンプの台数は？</p> <p>Q3. 茅野市のビデオを見ましたが、茅野市の川幅は結構小さいもと感じました。多摩川という大河に対して同じことが本当に可能なのでしょうか？ポンプがオーバーヒートする可能性は本当にないのでしょうか？期待する装置であるだけに、技術的な裏付けをきちんと報告をお願いします。</p>	<p>※(六郷)は六郷排水樋管の流域、(猪方)は猪方排水樋管の流域、(六郷・猪方)は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、(六郷)(六郷・猪方)をご覧ください。</p> <p>(六郷)</p> <p>A1. ①の地点の水圧は水深相当になります。最大水深(吐出し水槽の底版からの高さ)で約5.6mですので、底面に作用する圧力は約$1.56 \times 10^5 \text{Pa}$になります。ちなみに、排水ポンプの場合は全揚程(ポンプの吸込み側の水面と吐出し側の水面の差に摩擦等の損失を加えたもの:汲み上げる高さ)で考え、最大6m程度になります。</p> <p>A2. ポンプゲートはポンプ2台で、定置式ポンプ1台を合わせ計3台となります。</p> <p>A3. ポンプの能力は揚程と排水量で決まりますので、排水先の川の水位には影響を受けませんが、川の大きさには影響されません。</p> <p>なお、ポンプに流入するゴミ等が原因で故障する可能性があるため、除塵機を設置します。</p>
4	<p>近年、大雨がきますと、多摩川の水量はじん大なものです。</p> <p>市民プールの近くにニヶ領のせきがあります。水量が多くなるとダムの上流では水面から土手の高さまでの空間がほとんどなくなります。(過去にダム上の深さがひざ程の深さしかない時がありました。)</p> <p>そこでニヶ領のせきがない方が浸水被害が少なくなるのではないのでしょうか。かつて、このせきは、江戸時代の頃から多摩川の水を利用して、米をつくっていたとのこと。しかし、最近ほとんど農業用水では利用していないようです。しかし、川崎には水利権があります。いざ、多摩川の水があふれた時、このダムがない方が、被害が少ないのであれば、ぜひ、川崎側と協議をし、被害の抜本的対策を検討いただきたい。</p>	<p>(六郷)</p> <p>和泉多摩川駅付近の河川敷に面したニヶ領宿河原堰は国土交通省京浜河川事務所、調布市民プール近くのニヶ領上河原堰は川崎市が管理している堰となります。</p> <p>提案頂きましたニヶ領上河原堰について川崎市に確認したところ、かんがい用水としての需要は減ってきていますが、工業用水を取水する施設としても利用していることから、撤去はできないので、引き続き適正に運用していくとのことでした。</p> <p>市としては、説明会で説明させて頂きました浸水対策にて対応を図っていきたいと考えています。</p>
5	<p>想定している吐出し水槽の縦横サイズは？</p>	<p>(六郷)</p> <p>設計検討は今後行うため、想定の大きさになりますが、長さ15m、幅6~7m、高さ6~7m程度を考えています。</p>
6	<p>ポンプゲートは水槽内の水圧と外部多摩川流域からの流入圧に対抗し、理想通りにさらに押し返す力は十分か？多摩川流域からの水圧はその量とともに想像を超えるものがあるのでは？</p>	<p>(六郷)</p> <p>多摩川も根川雨水幹線も開水路であるため、水圧の分布は静水圧になり、水面の高さが同じであれば水圧は同じになります。水面での圧力は大気圧で、ほぼ同じになるため、水位の高い方(水槽内)から低い方(多摩川)に流れます。</p>

No.	ご意見等	回答
7	吐出し水槽の壁の厚さはその容量を流出させ、さらに上部に水量を蓄積する圧力に耐え得るものを作るときの壁の厚さは？	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域，（猪方）は猪方排水樋管の流域，（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは，（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（六郷） 壁の厚さは水圧だけではなく、土圧や地震時の外力等を考慮する必要がありますので、今後設計を行う中で検討していきます。</p>
8	平常時の年は通常干上がり、壁にヒビが入ったり、非常時は以上の圧力がかかるという繰り返しにどれほど耐え得るのか？平常時の保守費用が膨大なものになるのではないか？	<p>（六郷） 屋外施設となりますので、日射等屋外特有の影響はあろうかと思いますが、管路施設については現状の根川雨水幹線と変わるものではなく、設計上の寿命を有するものであると考えています。なお、付加されるポンプ施設は管路施設に比べ設計上の寿命が短く、維持管理費も掛かるものですが、必要な経費であると考えています。</p>
9	吐出水槽は必要がない。茅野市も映像には載ってないし、多分、使っていないと思う。	<p>（六郷） 吐出水槽は、ポンプの吐出管から吐出される水流を減勢し、接続する水路へ円滑に移行させるための水槽で、樋管に接続する場合は河川管理施設等構造令という法令により必ず必要となります。 茅野市においてもポンプ直近に吐出水槽が設置されており、調布市及び粕江市職員も現地で確認しています。</p>
10	地上3メートルの壁は威圧的で平常時は景観的にも邪魔で不要。	<p>（六郷） 吐出水槽は、ポンプの吐出管から吐出される水流を減勢し、接続する水路へ円滑に移行させるための水槽で、樋管に接続する場合は河川管理施設等構造令という法令により必ず必要となります。ご理解をお願いします。</p>
11	10年～100年に1回程度の予想災害のために平常時の維持管理はあまりに負担が大きい。	<p>（六郷） 令和元年東日本台風（台風第19号）と同等の災害が今後いつ起こるかは分かりませんが、既に起きた災害規模に対しては対応すべきだと考えています。</p>
12	予想される極端の災害には出来るだけ早めの避難呼びかけを遵守するのが良い。想定以上の災害は行政も命を守るための避難行動を促すべきで水槽壁は無駄が多すぎる。	<p>（六郷） 令和元年東日本台風（台風第19号）と同等の災害規模に対してはハード対策で対応すべきだと考えています。 それを超えるような災害が見込まれる場合については早期に避難するなどし、身の安全確保をお願いします。</p>

No.	ご意見等	回答
13	令和6年にかけて河道の掘削が計画されていますが多摩川の河道の掘削が完了したら水位が何センチ下がる見込みのでしょうか？	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域、（猪方）は猪方排水樋管の流域、（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（猪方） 多摩川の河道掘削と樹木伐採により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、水位を低下させ、多摩川からの氾濫を防止することを目的として実施しているものです。これにより、石原水位観測所付近で多摩川の水位が約60cm低下する見込みとされています。多摩川雨水幹線流域（猪方排水樋管の流域）では河道掘削と樹木伐採の範囲から距離があるため水位低下の効果があるか不明ですが、水位低下が無くても中長期的な浸水対策（ハード対策）にて浸水が解消する施設を設置することとしました。</p>
14	説明会では住民は大きな排水ポンプを要望していました。狛江市だけの財政力では購入出来ないのだと推察します。狛江市民も都税・国税を負担しています。東京都や国と交渉して大型排水ポンプを設置して下さい。	<p>（猪方） 今回説明させて頂いた中長期的な浸水対策案でのポンプ施設については、国や都の補助金を活用し設置したいと考えています。 また、短期対策として活用する排水ポンプ車につきましては、狛江市で購入した毎分15立方メートルの排水能力を持つポンプ車を活用すると共に国、東京都、関係団体と連携し対応してまいります。</p>
15	P. 8（説明資料（猪方排水樋管の流域））ポンプ排水量 吐出量2.0m ³ /minとは水位高に換算して凡そ何cm程の効果がありますか。	<p>（猪方） 令和2年9月に行いました市民説明会では消防ポンプ3.68 m³/minの稼働有り無しの比較を行いました。樋管操作を逆流を防ぐ最適操作とした場合、浸水量は14,577 m³から13,835 m³と742 m³減少することを確認しましたが、浸水深に明確な違いはありませんでした。しかしながら、浸水を少しでも早く解消するため、このポンプを活用していきたいと考えています。</p>
16	P. 53（説明資料（猪方排水樋管の流域））避難について 狛江第六小学校を予定していますが、開設が始まったことは事は何で判りますか。又方法を教えて下さい。	<p>（猪方） 避難所の開設については、安心安全情報メール、HP、バカンマップなどのほか、コミュニティFMコマラジで情報発信します。</p>
17	P. 54（説明資料（猪方排水樋管の流域））自動車避難場所（ユニディ狛江・ニトリ狛江） ① 車両での避難が必要な方とありますが、例えば私達は私は87歳で歩けます妻は杖は不要ですが歩くのがやっとです。この程度で該当するか。 ② 行きました満員ですでは困るので予約する方法はありますか。如何にすれば良いですか。 ③ 健常者でペットを飼っています。ペット連れで可能ですか。（自動車での避難）	<p>（猪方） ① 該当します。 ② 店舗と調整して開設を判断するため、場所を予約することはできません。市外を含めて複数の避難先をご検討ください。 ③ 避難先では車内で過ごしていただきますので、ペット連れも可能です。</p>

No.	ご意見等	回答
18	<p>P. 55（説明資料（猪方排水樋管の流域）） 計画高水位 7.8m、住宅地側最低地盤高 5.2m、はん濫水位高 4.9m は何で確認出来ますか。判れば方法を教えてください。</p>	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域，（猪方）は猪方排水樋管の流域， （六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。 調布市域に関するものは，（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（猪方） 樋管地点の水位は、猪方排水樋管と六郷排水樋管については狛江市ホームページ：https://komae-hikan-suii.jp/で、調布排水樋管については調布市防災河川情報ポータルサイト：https://chofu.bousai-bec.jp/で公開しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>（狛江市）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>（調布市）</p> </div> </div>

No.	ご意見等	回答
19	<p>閉会后お話をさせていただきましたがきちんと文章でお伝えしなければ、会を主催していただいた粕江市の職員である総務部、都市建設部、環境部の皆さんに申し訳ないと思いメールを送らせていただきました。</p> <p>これまでに至る経緯で職員の皆さんもいろいろご苦労されていることだと思います。</p> <p>けれど前回(エコルマホール)も今回も時間内の中で(ほぼ)膨大な資料の説明に終始しました。</p> <p>私たち(被害を受けた市民)の気持ちを聞いてくださったり、心配していることの質問を受けてくださったりする様な時間は少なく、肝心な話ができないと感じました。</p> <p>その体制そのものが市民にとって「理解のある対応では無い」のではと感じます。</p> <p>そして、その杓子定規の対応に不満を感じています。</p> <p>勿論その対応は市職員としての立場(対応する職員の名前を伝える・資料をスクリーンに質問のたびに映すなど)では当然の対応で変えることができないだろうとも思います。</p> <p>それは水害に負けない対策をやっているひな壇の粕江市職員と、やってもらっている市民という構図で、水害を受けた市民としては実際に即して無いと思います。</p> <p>私たちと粕江市職員の皆さんとは「災害に負けない安心安全な街を作ろう」と言う大きな共通の目的を持って一緒に考え続ける関係だと考えています。</p> <p>それが皆さんの説明を聞いているうちにその気持ちが希薄になり「私はやってもらっている」という立場になり、毎日の生活を送っているうちに、ほとんどの方は水害を忘れ、予算も無いし、一度起きたからもう準備(それなりに以前よりは対策など)もできているから水害は起きないだろうと言う考えに変わってきてしまうのでは無いでしょうか？</p> <p>今日は8月7日、日本の彼方此方で線状降水帯と言う厄介な雨が降り、「川の越水、山崩れ」などたくさんの被害が出ています。生活に潤いをもたらす川も一度「今まで経験したことのない豪雨」と言う変異になると、人の力はなすすべがありません。</p> <p>毎日脅威を感じて生活することはないけれど、少しでも私たちが経験したことを生かすためにも、現在進行している対策や対応が実現できる様に、していただきたいと願ってやみません。</p> <p>たくさんの数字を入れた資料は入りません、少しでも成果や対策が進んだ時に「どうです、できましたよ」と言う資料1枚でもいいですから見せていただければ嬉しいことだと思います。</p> <p>因みに、中長期的対策が川崎市の次に粕江市から掲げられたことを、説明会の後〇〇さんから改めて聞きました。</p> <p>そのことは私たちにとって1歩も2歩も前進だと思います。その策定が机上の空論で終わらぬ様、職員の皆様の普段の努力を切望します。</p> <p>私は生まれつきの粕江市民ではありませんが、40年近く粕江市に住んでおります。</p> <p>粕江は小さいけれどいい街です。「好きです。」</p> <p>今住んでいてもいずれ次の世代に引き渡す時が訪れます。</p> <p>その時にも多摩川が自然の移ろいを綺麗に見せてくれ、生活に潤いを与え、花火や筏レース、遊びの原っぱで子供たちの歓声が聞こえる、いつも変わらぬ「好きです粕江」であります様、職員の皆様の弛まぬご努力をお願いいたします。</p>	<p>※(六郷)は六郷排水樋管の流域、(猪方)は猪方排水樋管の流域、(六郷・猪方)は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、(六郷)(六郷・猪方)をご覧ください。</p> <p>(猪方)</p> <p>説明会では、至らなかった点が多々ございましたこと申し訳ございませんでした。</p> <p>市民の皆様が安心できるよう努力してまいりますので、ご理解頂ければと思います。</p> <p>なお、市民説明会という形で今回は実施しましたが、今後も対策等の進捗やその効果等についても個別に説明させて頂くことも可能な限り実施したいと考えております。ご希望がございましたら申し出て頂ければと思います。</p>

No.	ご意見等	回答
20	<p>中長期的な対策（骨格）を策定したご努力に感謝します。 私個人としてはこの内容でよいので、あとは計画を着実に早期に実現して下さることを要望します。</p>	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域、（猪方）は猪方排水樋管の流域、（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（猪方・六郷） 市の計画案にご理解頂きありがとうございます。今後の対策につきましても着実にかつ早期に実現できるよう努力してまいります。</p>
21	<p>（１） 中長期対策の決定は、猪方排水樋管、六郷排水樋管ともに計画策定をした時か。その場合、住民説明会は今回の骨格と変わらない場合でもおこなう予定か、それとも変わった場合のみの予定か、または一切行わない予定か。</p>	<p>（猪方・六郷） 再度災害防止に向けた中長期的な浸水対策（ハード対策）は浸水被害軽減総合計画策定をもって決定し市HPで公表させていただきます。なお、今回、案としてお示しさせて頂いた内容に大幅な変更があった場合につきましては、別途、市民の皆様説明をする必要があると考えています。</p>
22	<p>（２） ポンプ施設の建設について、国や都の補助の割合はどのくらいか。</p>	<p>（猪方・六郷） 国の交付金を1/2、都の補助金を1/40 得られるような手続きを進めていく予定です。</p>
23	<p>（３） 狛江市の猪方、六郷両樋管の建設にかかる予算規模の概算をお教え願いたい。六郷排水樋管については狛江市と調布市のおおよその負担割合と予算規模。あくまでも概算で結構です。</p>	<p>（猪方・六郷） 再度災害防止に向けた中長期的な浸水対策（ハード対策）として多摩川雨水幹線流域（猪方排水樋管流域）は約14億円から24億円の範囲、羽毛下・根川雨水幹線流域（六郷排水樋管の流域）は約20億円を想定しています。また、国の交付金を1/2、都の補助金を1/40 得られるような手続きを進めていく予定です。 羽毛下・根川雨水幹線流域（六郷排水樋管の流域）については調布市と狛江市の流域面積を基に負担割合を今後協議してまいります。</p>
24	<p>（１） 防災講演会 D-6（説明資料（猪方排水樋管の流域）P.59） 防災講演会・出前講座・防災カレッジは有意義だが、委託講師のなかには狛江市の実情を知らないで機械的に話している人もいます。大変だが、できれば市の担当職員を中心としてやってもらいたい。なお、今回の中長期対策の説明会は時間が短くてわかりにくかったとの声もある。できれば下水道課職員又は日本水工設計の担当者が参加する講演会なり、懇談会をやってもらいたい。</p>	<p>（猪方・六郷） 個別に市職員が説明させて頂くことも可能な限り実施したいと考えております。ご希望がございましたら申し出て頂ければと思います。</p>

No.	ご意見等	回答
25	<p>(2) 防災まちづくり D-7 (説明資料(猪方排水樋管の流域) P.60)</p> <p>狛江市は立川段丘面と沖積地からなっている。「旧狛江市史」36頁の「多摩川の古い流路推定図」を見ると沖積地は、ほとんど氾濫時の流路となっている。今後の気候変動による想定外の豪雨が生じた場合、いくらハード面を強化したとしても水害の生じる危険性がある。</p> <p>そこで都市計画において沖積地はあまり人口を増やさない緑とレクリエーションの機能を、段丘面は比較的災害に強いので多面的な機能を重視するメリハリの利いた都市計画マスタープランを作成してもらいたい。</p>	<p>※(六郷)は六郷排水樋管の流域、(猪方)は猪方排水樋管の流域、(六郷・猪方)は両方の流域に関する説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、(六郷)(六郷・猪方)をご覧ください。</p> <p>(猪方・六郷)</p> <p>狛江市では都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定にむけて、9月6日までパブリックコメントを実施しました。</p> <p>その中で、狛江市は、大半の地域において人口密度80人/ha以上と高い値を示しており、将来的にも過度な人口減少は見込まれていないため、土砂災害特別警戒区域等を除く市街化区域を居住誘導区域とし、また、多摩川・野川の想定最大規模の洪水時の想定浸水深さ3.0m以上等のエリアを、防災環境形成エリアと定める予定です。</p> <p>このエリアは、被害の防止・低減に向けたハード対策と、市民等の意識啓発や避難・防災体制の充実等に向けたソフト対策を組み合わせ、多角的・広域的な対策を一步一步進め、災害への総合的な対応力を向上させ、災害にも強い、安心・安全なまちづくりを目指し、住宅の建て方の工夫がしやすいまちづくりのルールを考えていくエリアとしたいと考えております。</p> <p>まちづくりのルールを考えていくにあたっては、地域の人々と意見交換して、市民参加・市民協働で一步一步安心安全なまちづくりを進めていくことが、重要と考えております。</p>
26	<p>(3) 京浜河川事務所との協議</p> <p>下流との関係で計画高水位を超えた場合、常設ポンプも排水ポンプ車のポンプも、多摩川への強制排水はできない。内水氾濫を防ぐには多摩川の水位を引き下げることが重要。</p> <p>多摩川の水位を引き下げするため、京浜河川事務所など関係機関と協議し、以下の項目の実現に向け努力してほしい。</p> <p>① 河道の土砂掘削は、何年か経つとまた土砂が堆積し河床が上がることになる。多摩川緊急治水プロジェクトのように単発的に掘削をするのではなく、河床が上がらないことと、橋脚の土台との関係をきちんと計算して、経常的に例えば5年または10年に1回掘削するといったローテーションによる掘削を検討してもらいたい。</p> <p>② 気候変動の豪雨による大流量をさばくことを考えれば、河川敷の運動場等の面積を削って多摩川の河道の断面積そのものを広げる必要もあるのではないのか。緑とレクリエーション機能等との関係で自治体との調整が難しいとのことだが、運動場等は河川敷以外の場所でも可能である。河川敷の運動場を河道にし、代わりに堤内地に運動場を作ればよいのではないのか。</p> <p>③ 小河内ダム(利水ダム)の事前放流の「治水協定」ができたのは一歩前進であるが、2割では少ないのではないのか、聞くところによると利水権者の東京都水道局が利水容量が減るので難色を示しているとのことだが、水道水の需要のピークを過ぎた9月以降だけでも、事前放流の割合を増やせないものだろうか。</p>	<p>(猪方・六郷)</p> <p>① 京浜河川事務所に聞き取りをしたところ以下のとおりでした。</p> <p>京浜河川事務所では多摩川を定期的(5年に1度)に測量しております。その測量により中州の状況や水面下の土砂の堆積状況を確認しているところです。河川管理上支障となる土砂の堆積などが確認された場合は、多摩川緊急治水対策プロジェクトで行っている河道掘削・樹木伐採とは別に、河道を維持するための河道掘削・樹木伐採を行っています。</p> <p>② 多摩川河川敷の利用・保全にあたっては、国の多摩川水系河川整備計画において、多摩川の特徴を生かすことを基調とし、利用と保全の調和がとれた、より望ましい多摩川を創出するため、利用または保全の方針として5つのタイプのゾーンが河川敷に設定されています。このうち、狛江市の運動場付近の河川敷は、「整備・自然ゾーン」として、「運動公園、健康管理施設的な利用を望む広域及び沿川住民からの要請にこたえる空間」と位置付けられています。</p> <p>これを踏まえ、狛江市では河川敷に市民スポーツの拠点となる多摩川緑地公園グランドや、誰もが利用できる広場として多摩川自由ひろばを整備しており、スポーツ施設や公園施設の少ない狛江市にとって、市民の貴重なスポーツの拠点、憩いの場所として活用されています。</p> <p>また、同規模のグランド等を堤内地に設置することは、土地の確保、整備費用等の面からも困難と考えています。</p> <p>③ 治水協定による放流量は、令和元年東日本台風(台風第19号)の降水量より算出した現状放流できる最大量を協定放水量としています。</p>

No.	ご意見等	回答
27	<p>1 水害当日の状況について 今後は事実の収集での検証も行うことについて</p> <p>資料 P. 16 では 多摩川からの逆流は根川第一雨水幹線のみで根川雨水幹線は順流が続いていたとしている。翌日の道路上の泥の分布状況、および初期の段階で根川雨水幹線の水位上昇が根川第一雨水幹線への逆流につながり根川第二雨水幹線の排水不良をひきおこしたとすれば、い号棟北のはけ下での浸水のが周辺より早かったという証言とも整合性がある。</p> <p>一方、水害翌日自衛隊が根川雨水幹線付近の泥や流枝などの撤去をしていたという報道があったと記憶している。木の枝などが一定量あったのであれば第一雨水幹線合流部より上流の根川雨水幹線でも逆流がおこっていたのではないか？</p> <p>今後は 多摩川の河川管理者である国が 逆流が疑われる場合は すみやかに堆積物などの写真記録やサンプル採取を行い、分析結果を地元自治体に提供すべきだと考える。</p> <p>シュミレーションは条件の設定にもとづいて 結果がでるものなので、やはり事実を収集しておいて、シュミレーション結果との比較検討を行い、当日の状況について推論を行うべきだ。</p>	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域、（猪方）は猪方排水樋管の流域、（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（六郷）</p> <p>行ったシミュレーションは浸水発生時の再現性を確保できていると考えております。</p> <p>しかしながらご指摘のように、シミュレーションにおいて、モデルに当日の状況を詳細に反映させることが、精度を向上させる上では重要なことです。今後のためにも、被災時にはできるだけ多くの情報を記録しておくようにします。</p>
28	<p>2 六郷排水樋管が水衝部に位置することでの影響は無いのか？</p> <p>1に関連して 静水圧的にはポンプゲートでの排出が可能になることはわかるが、排水樋管が水衝部に位置することによる樋管への泥水、ゴミや植物破片などの流入の影響によっては、多摩川への排水がすみやかに行われぬ可能性があるのではないか？</p> <p>未評価の排水不良、内水浸水を引き起こすリスクについても住民にアナウンスしておくべきだ。</p>	<p>（六郷）</p> <p>樋管の設計において外水位以外の泥水、ゴミ等が排水に影響することは無いものと考えています。</p>
29	<p>3 河川情報の住民への周知 市としての掌握方法についての質問</p> <p>① 19号台風では 河川水位情報が一時閲覧不能になった。その後改善されたと聞いているが、最近でも携帯事業者において LET 通信障害が発生している。市民に災害時に携帯端末による防災情報の収集を呼びかけているが、大規模災害発生時の通信・端末利用の増大に対応した 対策は十分なのか？</p> <p>② アメダスのデータ送信が一部民間 LET 通信利用であったことがあきらかになった。</p> <p>災害時のリスクを考えれば、公共機関内部での情報伝達には専用の帯域の設定などデータ伝達や通信の確保策が必要と考えるが現状はどうなっているのか？</p>	<p>（猪方・六郷）</p> <p>① 各携帯端末事業者において、災害時に増加する通信への対策が検討されています。災害時の情報収集に携帯端末は有効な手段ですが、他にもコマラジなどと連携して情報発信してまいります。</p> <p>② 関係機関内の通信手段としては、災害時優先回線（固定・携帯電話）、無線などを整備しています。</p>
30	<p>今年 8 月末時点で、令和元年台風 19 号と同等クラスが来た時に、事実としてどれくらい浸水被害が発生するのか、浸水被害想定図を“時系列”に提示してください。</p> <p>浸水被害想定図は、対策毎に、今年 8 月末時点の効果（低減水位）を明確にしてください。</p> <p>※「説明会資料 p20 右側の図」は、3ヶの対策が全て完了した時点（令和 6 年度末）の合計で書かれているため、それぞれの対策毎にどれだけの効果があるのか内訳が不明です。</p> <p>調布市&狛江市が、自らコントロールできない対策（河道掘削等）は、少なくとも対策の効果は自らコントロール可能な対策とは別に提示してください。</p>	<p>（六郷）</p> <p>別紙 1 にて公表させていただきました。</p>

No.	ご意見等	回答
31	<p>シミュレーション結果の図は、「説明会資料 p20 右側の図」だと“浸水深凡例”に隠れて染地みどり自治会地区全体が見えないため、少なくとも染地みどり自治会地区全体が見えるようにしてください。また、p20 は 1 ページに図を 2 枚入れて図が小さくなって見づらくなっているため、今年 8 月末時点の浸水被害想定図は 1 ページに大きい図を 1 枚として見易くしてください。</p>	<p>※（六郷）は六郷排水樋管の流域、（猪方）は猪方排水樋管の流域、（六郷・猪方）は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、（六郷）（六郷・猪方）をご覧ください。</p> <p>（六郷） 別紙 2 をご参照ください。</p>
32	<p>現在実施中の逆流防止ゲート設置はいつ頃完成し、運用開始するのでしょうか。 説明会資料だと、工期が 10 月末となっており、今年の出水期には運用開始が間に合わないようにも見えます。 仮に 8 月末に間に合わない場合は、運用開始時期とその効果（低減水位）を、参考として提示してください。</p>	<p>（六郷） 全体工期は 10 月末としていますが、8 月 30 日にゲート本体の設置は完了し、逆流防止機能は備わっています。</p>
33	<p>この浸水被害想定図は、毎年年度末にその年度の対策の実施状況（実績）を反映し最新化して、住民に調布市ホームページ上で公開ください。</p>	<p>（六郷） 事業の進捗にあわせて、別紙 1 にて公表させていただきました。</p>
34	<p>先日の山形などでの災害を見ると、狛江も再び浸水被害が起こるのでは、と心配になります。 今回中長期対策が出され、市の職員の方々、又水工設計さんの努力に感謝申し上げます。用地確保などの問題は多いかと思いますが、なんとか粘り強く 7 年後のポンプ施設完成までこぎつけて頂きたいと思います。 完成までの間の対策、今あるポンプを早めにするためのマンホール設置など、追加の短期対策も考えて頂けますとさらに助かります。どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>（猪方） 今回の計画案にご理解頂きありがとうございます。現在、市で所有しているポンプの運用につきましては、最善の運用方法となるよう考えてまいります。また、国、東京都、関係団体等とも連携し市民の皆様が安心できるよう対応してまいります。</p>
35	<p>もし今年 19 号並みの台風がきた場合、現状の実施された対策（樋管操作・フラップゲート）により染地 3 丁目の浸水はどの程度免れると想定されますか？</p>	<p>（六郷） 別紙 1 をご参照ください。</p>
36	<p>避難所の件について質問です。 現在私の住んでいる所は猪方 2 丁目です、この付近での避難場所としては「6 小」、「2 中」の 2 か所が避難場所として使用できる指定場所と考えます。今回説明があったように堤防決壊で 4 メートル位の被害が出た時、この 2 か所でどのくらいの所帯人数が収容できるのか、また市として考えているのかお聞きしたいと思います。とゆうのは一部質疑の中で「6 小」の収容人員が 218 名（3F 以上階）とお答えになったようでしたので・・・えらい少ないなと（1 所帯平均 4 名とすれば 54～60 所帯）猪方全体で何所帯あるかは市の方々は爬粋しておられると思いますが、これで「2 中」は何人が収容できるとお考えなのか、まあここは 4F までありますので「6 小」よりは多いと思いますが。しかし 4m もの水が出たとなれば恐らくほとんどの家が浸水となり 6 小、2 中、では収容出来ないのではないかと、4m もの水が出た時この場所以外の遠方の場所の移動は不可能と思われることから、それらの対策、また避難場所の収容人員の規模などをどのように考えているのかお聞きしたいと思います。</p>	<p>（猪方） 水害時では、第六小学校 218 人、第二中学校 240 人が受入可能人数の見込みです。 水害時においては、できるだけ浸水想定区域外へ避難することが望ましいです。狛江市では市の大部分が浸水想定区域となるため、市外への避難、また避難所ではなく親戚・知人宅やホテルなど避難所以外の避難先を日頃からご検討ください。</p>

No.	ご意見等	回答
37	<p>説明会の質疑応答で、『排水ポンプ車の能力が不足しているのでは?』という質問が出ましたが、この質問に対する市側の回答として、『他の自治体や行政からポンプ車の応援を要請する』といった説明がありました。</p> <p>① ポンプ車の応援要請は、具体的にはどこの自治体にお願いするのですか? 仮定の話ではなく、実際に協力体制の確認が取れているのですか? 台風などの状況下で、他の自治体に貸し出せるようなポンプ車があるのですか?</p> <p>② ポンプ車の代用として、市内のセメント業者の圧送車の出動も考えているとの説明もありましたが、実際には何台で、どれくらいの能力なのですか? その業者との取り決めは交わされているのですか?</p>	<p>※(六郷)は六郷排水樋管の流域、(猪方)は猪方排水樋管の流域、(六郷・猪方)は両方の流域に関わる説明内容に対するご意見等への回答です。調布市域に関するものは、(六郷)(六郷・猪方)をご覧ください。</p> <p>(猪方・六郷)</p> <p>① ポンプ車の応援要請先は、国(京浜河川事務所)と東京都(北多摩南部建設事務所)です。保有台数に限りがあるため、ポンプ車の派遣はその時の被災状況によって調整されます。大規模災害時には、広域の河川事務所からポンプ車を派遣するなどの災害対応がされています。</p> <p>② 令和3年12月に東京都コンクリート圧送協同組合と協定を締結し、コンクリート圧送車による排水活動の協力をいただくこととしています。現在、東京都コンクリート圧送協同組合は会員数22社、保有ポンプ車148台です。排水機能は概ね毎時40~50立方メートルです。</p>